

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2025年12月7日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙祷		一同
讃美※	聖歌 402 「丘にたてる」	一同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃美	聖歌 420 「あなたの持てる悩みは」	一同
教会学校	絵本 「星にみちびかれて」	牧師
讃美	聖歌 325 「いとも良きものを」	一同
聖書朗読	使徒行伝20:1-6	
奨励	使徒行伝の福音(第71回)	牧師
主題	「土の器を活かす神」	
讃美	聖歌 489 「人生の海の嵐に」	一同
献金	献金と感謝の祈り	
聖餐		
頌栄※	聖歌 379 「主よこのところを」	一同
祝祷※		牧師
来週の箇所	使徒行伝 20:7-12	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの方様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチヤン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（2コリント9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《祈りの課題》

- ①家族の救いのために
- ②礼拝に来れなかった人々のために
- ③教会学校の子供たちが救われますように

《今週の歩み》
12/7 (日) 聖日礼拝
/8 (月)
/9 (火)
/10 (水)
/11 (木) 10:00祈り会
/12 (金) 10-12:OBSクラス
/13 (土) 13-16子供オーブンハウス



良書ハイライト

「神様だけを頼る人が用いられる」

ジョン・ピョンウク著「輝く明日を生きる」(小牧者出版) p.33-34

「使徒の働き」7章を見ると、ステパノはモーセの生涯を40年という間隔で三つに分類しています。エジプトの王子であった40年、ミデヤンの牧者であった40年、イスラエル民族をエジプトから脱出させた指導者としての40年です。神様は御自身に頼る人を用いられます。裏を返せば、誰であっても、神様を絶対的に頼るようになるまでは用いられないということです。

神様はモーセの全生涯を統べ治めておられました。神様の計画と導きに従ってモーセの人生は広がっていきました。この三段階に分けられたモーセの人生の中で、神様がモーセを用いられたのはいつだったでしょうか。低くされて、謙遜に神様だけを頼ったときでした。自分が「強い」と考えたときではなく、むしろ自分自身が「足りない者だ」と考えて、自分自身を否定したとき、神様は彼を用いられたのです。

モーセはエジプトの王子として暮らしていたときには、自分には何でも成し遂げる力があると考え、自分を「大した人物(something)」だと考えました。その後40年間ミデヤンの牧者として過ごした時には、荒野の中で、自分自身が何者でもない僕(nothing)であることを悟りました。そして最後、彼の人生の絶頂期に、モーセは自分には何もできないが、全能の神様がとらえて用いてくださるならば、どんなことでもできる(everything)ということを悟ったのです。私達の人生もこれと同じです。

聖書は私たちを土の器、それも宝を蓄えた土の器だと言っています(2コリ4:7)。聖化とは何でしょうか。自分自身が土の器であるということを悟ることなのです。それを悟るならば、nothing だけど everything になるということです。なぜなら私たちはただの土の器ではなく、神様の宝を内に備えた土の器であるからです。この力を発揮する鍵は、私たちがどれほど神様を頼っているかということです。